

1次産業

温暖な気候に守られ、地域性を生かした農業が営まれている豊後高田市。干拓地で行う大規模な白ネギ栽培や世界農業遺産の象徴となるシイタケ栽培など果敢に挑戦する農業者がいる一方で、担い手の高齢化が進む。豊後高田の農業を次代につなげるためすべきことは、地域の若手リーダーが討論した。



白ネギ

出てこい! 農業の“怪物”

5年後の勉強をしたい

宮家 1次産業の分科会を始めます。まず、自己紹介からお願いします。

万 会社に入って20年、ずっと野菜に携わってきました。いつもは販売という部分で見てるので、皆さんの話を聞きながら勉強させていただきたいと思います。

早田 就農10年目を迎えました。現在はソバと乾シイタケを栽培しています。併せて、父が運営する集落営農組織グリーンファーム畑でオペレーターもしています。



若手リーダー
早田集落営農代表
早田政徳さん

野村 県外から大分に来て、農業を始めて7年。有機農業をされていて、季節ごとの野菜を作っています。出荷は直売所がメインです。

大森 市内呉崎で白ネギを10町、落花生を10町。以前はサラリーマンをしていて、帰ってきて10年目です。ネギは個人の大きい間屋さんに卸しています。今日は3年後、5年後の勉強がしたいと思っています。

村上 合併前の香々地町役場に入って18年、ずっと農業畑でやってきました。新規就農の支援と果樹、有機や環境性能評価を担当しています。

西日本一の春ソバ面積

宮家 豊後高田市の農業と産品について説明をお願いします。

村上 海あり、山あり、谷ありといろんな自然環境があり、さまざまな作物が生産されています。白ネギは干拓の農地で行われており、他にも肉用牛やシイタケ、米、園芸品目もあります。最近ではソバが栽培されています。

宮家 額はどれくらい。

村上 26年度の生産額は白ネギが約23億、肉用牛が約13億、米が約7億。シイタケは乾シイタケの栽培が多いです。近年ソバの生産が増えています。春ソバは西日本一の作付面積がありますが、収量をもう少し上げていくことが課題です。白ネギは西日本有数の面積です。

万 国東半島のネギ、ソバの出荷は増えています。量の問題でしょうか、うちで売れることはありません。カニも有名ですね。一般的な野菜やレンコン、菜の花も出荷があります。温暖なイメージで栽培がしやすいのだからという印象です。塩害はどうなんでしょうか。

村上 干拓地で白ネギを作っていますが、塩害はこれまでそう問題になっていません。

宮家 では個別の話をしていきます。現状と課題、不安を教えてください。

早田 組合は作付けが28町くらいですが、整備されていない土地が多く、大きな土地になっていないので基盤整備が必要です。平均年齢が68歳くらいで、人もいないので、若いオペレーターを探しています。

宮家 新規就農の部分でもありますね。

村上 集落営農法人にオペレーターが不足していて、地域に迎え入れてくれるということであれば、東京や大阪で就農相談会もしています。積極的に紹介したいです。給料が出るのであれば自分で新しく始めるよりずっと入れるのではと思います。

野村 嫁さんと2人でしているのですが、嫁さんは子育てと家事があるので、2人といっても思ったより仕事が進まなくて、子どもが体調を崩すと急に回らなくなります。移住した身から言うと、どうしても土地を借りにくい現状があります。有機農業をしている人が少ないので、大手に卸すには量が足りません。次が育つひな型ができていないところが課題と思っています。



若手リーダー
野村晴耕園代表
野村哲也さん

大森 量の課題ですか。

野村 他県では有機栽培農家が3、4人でまとまって出荷する場合がありますし、そういうところの方が単価も高い。生協や自然食品店ではどうしても量を求められます。

大森 輸送コストとかで単価が高くなってしまうんですね。

理系の人が向いている

宮家 移住の方はどういうものを求めているのでしょうか。

村上 新規就農を目指す方にはそれぞれ夢があって。具体的なプランがある人と、単に出荷で暮らしたい人もいます。有機志向の方も多々います。ただ、それが業になるとしっかり売っていかなくてはなりません。野村さんは強い意志と信念があつてできているので尊敬します。野村さんが仲間をつくってくれると、入りやすくなると思います。

宮家 同じような道を志して来る人にアドバイスは。

野村 勉強が好きで人柄がいいと思います。勉強も化学が多いので、どちらかというと理系の人がいいのかな。

宮家 文学部出身にはつらいですね(苦笑)。大森さんはいかがでしょうか。

大森 地元に戻ってきた時に、落花生を食べたら懐かしくて。これなら勝負できるものになるんじゃないかと思って栽培と加工も始めました。うちの場合、今は人の問題の方が大きいんです。人がなかなか続かなくて、ただ、ずっと続けてくれて年取が上がるって雇いきれない部分もあつて。独立して、思いがある人が一緒にやっていったらいいかなと思っています。

早田 うちの集落営農は四つの谷で28町ありますが、作業に出るのは4、5人。今後も減っていく



若手リーダー
大森青果代表取締役
大森章司さん

と思うので、人出が足りません。

宮家 若い人が来てくれたら雇用できる?

早田 そうですね。

後継者いなくて荒廃化

宮家 市の農業全般の課題は。

村上 若い人が少ないのはあります。後継者がいなくなると、周辺の農家が代わりに農作業をしてくれる場合があります。荒れていくことも多くて。山間地では集落営農組織がないところはほとんど荒れていっています。

宮家 産品によっては状況は違うんですね。

村上 白ネギについては大規模化が進んでいます。社会的に運営する農家が増えており、干拓地の少ないので土地が足りない状況です。既存の方の拡大に加えて新規の方の受け入れを検討していくようにしたいかなと思います。

宮家 ここまでで万さん、どうですか。

万 これまでの話で挙がったのは、新規就農の方の土地の確保や、ほ場整備、人の問題、物流の課題もありましたが、大手に卸すには1戸の農家さんではキャパオーバーになると。量や質が安定しないと買いたたかれてしまう恐れがあります。きちんと評価する会社と取引をするかということが大事だと思います。旬ではない時期にどうしていくかも問題になると思うので行政とも一緒になって、やっていく必要がありますね。

大森 どうしても量がいけると思うんですが。

万 コンプライアンスの問題で、農業・農業のトレーサビリティができるものが指標になる。追えるものでないと販売できない流れがあります。また、販売の責任もあるので、どうしても量を追い掛けることはできない部分もあります。

大森 今後、全部の野菜がカット販売になって



若手リーダー
市農林振興課農業振興係専門員
村上晶紀さん

いくのではと思っているのですが。

万 廃棄率の問題もあるので、加工販売は両方を追い掛けなくてはならないと思います。都市部では販売現場は冷蔵庫代わりですが、地方ではまだ自分で作る方が多いので。

大森 若い人は、高くてもカット野菜を買うようになってきています。

万 料理が得意な方、作り方を知らない方が増えているという現状があります。私たちに求められているのは、おいしさの見える化だと思います。「おいしい」理由を伝えられずに価格の差になっていないところもあります。



アドバイザー
イオン九州光吉店農産主任
万洋史さん

ヒヨドリの被害が深刻

宮家 ちなみに、鳥獣被害とかありますか。

大森 米ですね。落花生にカラスが。立派になったと思ったら実がなかったとか。ネギは食わな

早田 イノシシやシカ対策で金網や柵はしていますが、掘ったり、電気柵もぶち破って入ってきます。シイタケも食べられます。並んでいるのを一列全て食べて帰っていくんです。

村上 危険を感じたときには飛び越えますが、餌があるときはぐりぐりですね。

野村 うちはヒヨドリです。キャベツとかブロッコリーとか。おとしは1反植えてたホウレンソウが一晩で全部ダメになりましたね。一番困ります。来る前にネットを張っているんですが。毎年時期をみながらやっています。

大森 相当の数でしょうか?

野村 黒い雲みたいな感じ。ブロッコリーは葉しか食べないのにふんをするので、結局食べられないんです。周辺の農家が代わりに農作業をしてくれる場合があります。荒れていくことも多くて。山間地では集落営農組織がないところはほとんど荒れていっています。

万 イノシシとシカの肉はジビエと言われて消費でも注目されていますが、肉としてはあまり消費されていないようです。地元の野菜と一緒にジビエが売り出されればいいと思う部分もあつて。どうですか。

早田 イノシシやシカはけっこうさばくのが大変で。技術がないと生臭みが残ってしまうんです。でも、イノシシの肉の料理とかイベントで出ることもありますよ。

野村 それ、肥料にならないかなと思うんですが。捨てるなら発酵させるとかなりのタンパク質があるのでもいい肥料になりそう。

村上 今は捨てているので有効活用する方法があるなら活用すべきですね。

流通部分の後押し必要

宮家 先を見据えて、将来的な話をしていきたいです。将来的にそれぞれ必要だと思うことを上げてください。

早田 整備して作業効率を上げていくことですね。世界農業遺産も浸透がいまいちな感じがして、なかなか付加価値が付いた価格になりません。

野村 人が育つことがすごく大事なと思います。有機農業では教えられる人がいなくて。県内には飯を食べるまでに育てられる人材が手前で余るほどじゃないので、指導できる人を育てていかなくてはならないと思います。独学では難しいです。

大森 農業に関しては似たような話ですが、効率のよい畑か人か。任せられる人材がいります。スーパーにネギがカットして売られる時代、真空パックも増えていますし、僕たちが作るネギはこういったネギでいいのか。説明できるような商品名

やパッケージに変えた方がいいのか。5年前は工場で作ったような野菜を買えないと言っていたのに、もう違うでしょうか。分からんけど、今のこともしながらそういうことを考えていきたい。人を育てるには時間がかかるので。

野村 人を育てるのは野菜育てるより大変。でも、6次産業までは難しいかなと思っています。うかつに足をつっ込んだらいけない感じしますね。

大森 豊後高田市産として一緒に売り出すのはどうですか。小さく作っている人もそこに出せばいい。それに大分合同新聞が協力すると。窓口になってもらえたら。生鮮やっというけるんじゃないかな。

村上 今までの農家で作ればよかったのが、自分で売りさける農家もあつています。今までは農政は作る支援でしたが、そろそろ流通のところにも口を出して関わっていくことが必要になるかもしれません。農業は業なので、たくさん稼いでもらわなくては。後押しをぜひやっていきたいです。

欠かせないかせぐ意欲

宮家 キーワードを決めていこうと思います。農業は厳しい状況もありますが、豊後高田市は移住促進も市を上げてやっていますし、誇れるところがあります。他分野と結び付けるのはどうでしょうか。

大森 豊後高田市の未来につながるキーワード。いろいろありますね。農業でいえば「人」ですが、「愛」とか?

宮家 「守る」とか「攻める」とかもありますね。

村上 これまでの話で言えば、人でしょかね。

万 インフラや人材育成、勉強とか、もうかる、欲とか。人がいなければいけないという話が多かったのかな。作るだけでなく自己完結するというのも一つなのかなと。

宮家 人が欲を持って守る、攻める、それを包む愛。

大森 もうちょっととーんと行っただけで良くないですか。

野村 観光と農業の連携は難しいかな。

大森 来ると人も田舎で何か作りたいという人が多いんですね。

村上 移住する人も二通りあつて、第2の人生をゆっくり暮らしたいという人と、新規就農して稼きたいという人。余暇の人はガッツガツして休んで売りたい人。1次産業で考えると、農業はするけど業にはなっていないので、意欲は絶対必要だと思っですね。欲がないとくじけるから。

早田 荒地をなくそうとしているので、「守る」もいいですね。

宮家 言葉を並べると、「守り、攻め、欲、人、愛」。

大森 モンスターが増えたら10年後豊後高田は良くなると思う。これまでのと勢いが違うようなコピーにしたから、「アグリモンスター」はどう?

野村 「人、欲、攻める、守る、愛」はどうするの?

バカになって解決する

宮家 「アグリモンスター 人、欲、攻める、守る、愛」でどうでしょう。

大森 いいと思うな。

万 「モンスター」は、一生懸命やって、解決できるようにバカになっているという部分でモンスターですね。人を育ててもらうことを考えると、地元愛があった方がいいかも。そう思うと「愛」が真ん中かな。

宮家 「アグリモンスター」の下に「人、欲、愛、守、攻」でいきましょう。ありがとうございます。

JTメッセージ

たばこは、豊かな味わいや香りを愉しむため、リラックスしてひとときのゆとりを得るため、あるいは集中力を高めるためなど様々な理由から世界中の約3分の1の成人により愛用されています。たばこを吸われる方と吸われない方が協調して共存できる社会の実現を目指して、様々な取組みを実施しているJTが、たばこのあれこれを紹介します。たばこのこと、ちょっと考えてみませんか?

たばこ税について

図1 たばこの税負担合計(1箱430円商品の場合)

国たばこ税	106.04円(24.7%)
地方たばこ税	122.44円(28.5%)
■国たばこ税	17,20円
■地方たばこ税	105.24円
たばこ特別税	16.40円(3.8%)
消費税	31.85円(7.4%)

図2 平成25年度 県・市町村たばこ税

大分県	1,590,878	総務省:統計情報より 単位:千円
大分市	3,725,502	杵築市 204,751
別府市	1,002,075	日出町 209,439
中津市	748,761	国東市 194,412
佐伯市	547,379	豊後高田市 191,681
日田市	553,719	玖珠町 163,301
宇佐市	424,282	竹田市 155,818
臼杵市	273,685	津久見市 127,370
豊後大野市	257,012	九重町 46,210
由布市	235,470	姫島村 11,891

たばこの価格には国たばこ税、地方たばこ税、たばこ特別税、消費税という4種類もの税金が含まれています。これらを合わせると、たばこの税率は本体価格の6割強を占め、日本で最も税率負担の重い商品のひとつになっています。

たばこ税は一般財源であるため、その使い道に制約はなく、各自治体の裁量に委ねられているのです。

例えば、1箱430円のたばこの場合、国たばこ税は106.04円(24.7%)、地方たばこ税は122.44円(28.5%)、たばこ特別税^{*}は16.4円(3.8%)、消費税31.85円(7.4%)となり、たばこの税率負担の合計は276.73円(64.4%)になります。(右図1)

*日本国有鉄道清算事業団及び国有林野特別会計の負債を一般会計に承認させることに伴い生じる負債を補うために創設。

ガソリンは約44%、ビールは約48%ですから、たばこの税率負担の大きさが分かります。地方たばこ税は都道府県税と市区町村税に分かれており、自治体毎の売上に応じて収収は異なります。ちなみに大分県内の自治体別内訳は右のようになっていますので、出張や旅行の際は「地元でたばこを買って」出掛けましょう。(右図2)【総務省:統計情報より】

ひとのときを、想う。

はじめた人がいる。
つづける人がいる。
じぶんは、
こうしてふるがっていくんだ。

こちよい世の中をめざした、JTの取り組み

■あなたが気づけばマナーは変わる

たばこを吸われる方の喫煙マナー向上のために、「あなたが気づけばマナーは変わる。」というメッセージとともに、ポスター、喫煙所のステッカー等による呼びかけを行っています。

■ひろえび街が好きなになる運動

「ひろう」という体験を通じ、「すてない」気持ち育てたい。そんな願いから生まれたこの運動は、どなたでも参加できる清掃活動で、全国各地でこれまでに延べ160万人の方々にご参加いただいています。

■分煙コンサルティング

公共施設や商業施設、オフィス等、各施設の特徴や利用される方々のニーズに応じた「分煙コンサルティング」を実施。分煙方法についての知見提供・提案・アドバイスを行っています。

吸う人も
吸わない人も
こちよい世の中へ。

喫煙マナーについてもっと知りたい方 > "ひろ街"への参加に関心のある方 > 分煙を具体的に検討されている方 > くわしくはこちらまで > JTの取り組み 検索

日本たばこ産業株式会社 大分支部 社会環境推進担当 大分市新貝1-10 TEL:097-552-7171 営業時間 平日9:00~17:40